糸島のできごと

和菓子で日本の伝統美を学ぶ

二丈中学校2年生が和菓子作り体験

3月9日、美術科のゲストティーチャーに旬菓／筑前苑田の苑田哲雄さんを招き、二丈中学校で和菓子作り体験が行われました。

これは、彫塑の授業の一つとして、和菓子から日本の伝統の色や形を体感し、伝統美を学ぶもので、昨年から行われています。

この日は、菜の花に蝶が舞う風景の和菓子に挑戦。苑田さんの指導で、それぞれにきれいな和菓子が完成。次の授業では、紙粘土を使って、オリジナル和菓子を作る予定です。

和菓子作りの手順を熱心に聞く中学生たち

科学の不思議を体験

九大生と一貴山小の子どもたちが交流

身近な物でカイロを作る「実験教室」が3月5日、一貴山公民館で行われました。

子どもたちに作り方を教えるのは九州大学の学生ボランティア「F・E・E・L」のメンバー。九大生の原口さんは「自分で考え、勉強することの楽しさを子どもたちに知ってもらいたい」と語っていました。

参加した子どもたちは、自分の作ったカイロが徐々に温まってくると、歓喜の声を上げて喜んでいました。

カイロの原材料の1つ、鉄粉を入れる。量を間違えないように…

試合前に地震被災者に黙とう

全九州ろう社会人軟式野球大会

曲り田野球場で3月13日、第1回リーグ戦・全九州ろう社会人軟式野球大会が開催され、九州各地から勝ち上がってきた4チームが熱戦を繰り広げました。

開会式では、まず地震災害の犠牲者に対する黙とうが行われ、来賓あいさつ以外はすべて手話。選手宣誓も手話で行われました。

試合は今後、九州各地で行われ、8月28日の決勝に勝ち残った上位2チームが、全日本ろう社会人軟式野球選手権大会に出場します。

選手宣誓も手話で行われた

引津小学校6年1組が初優勝

福岡県大会「スポコン広場」

アクシオン福岡で2月27日、スポコン広場の県大会が開催され、引津小学校6年1組が高学年の部で総合優勝を果たしました。

スポコンとは、スポーツコンテストの略でドッジボールラリーや大縄跳びなど4種目の総合成績を競い合います。

出場した森介飛（もりかいと）君は「優勝できたのはクラスがひとつになれたから。先生や家族の人たちからもたくさん支えてもらいました」と嬉しそうに語っていました。

この日のために一生懸命に練習。そして念願の初優勝

いとしま市民がひとつに

市民の生涯学習最前線

平成22年度交流しま専科『いとしま市民大学』の閉講式が3月5日、志摩健康福祉センター「ふれあい」で開催されました。

市民大学では、市内外を問わず受講することができ、「市民大学農園で野菜作り」や「糸島半島の歴史を学ぶ」など4つの専科コースに分かれて、それぞれの活動を行います。

この日は70人の糸島ファンが参加。各活動の発表や交流会、福岡市のグループ「コモハナ」の演奏などを楽しみました。

「コモハナ」によるウクレレとフラダンスも行われた

市内6中学校で卒業式

1024人の中学3年生たちの旅立ち

3月11日、市内6中学校で卒業式を行いました。今年の市内の卒業生は1024人。義務教育の9年間を終え、高校に、社会に旅立っていきます。

校長先生から一人ずつ卒業証書が手渡され、緊張の面持ちで受け取る中学生たち。

友達との楽しかった思い出や辛かった思い出をかみしめながら、中学生として学校での最後の行事に思わず涙ぐむ生徒の姿も見受けられました。

在校生の送辞に応え、答辞を述べる元生徒会長の久住呂健太君（志摩中学校）

ITOSHIMA INCIDENTS